

# 大雪等の被害に係る関係省庁災害対策会議

## 議 事 次 第

日時：平成26年2月7日（金）11:00～

場所：中央合同庁舎第5号館 防災A会議室

1. 古屋内閣府特命担当大臣（防災）挨拶
2. 西村内閣府副大臣からの秋田県における大雪等の被害に係る政府調査団調査報告
3. 気象状況及び今後の見通しについて
4. 被害情報及び対応状況等について
5. その他



平成26年2月7日  
内閣府（防災担当）

## 秋田県における大雪等の被害に係る政府調査団報告

### 1 概要

政府は、大雪被害の現状を把握するため、西村内閣府副大臣を団長とする政府調査団を秋田県に派遣し、被災自治体の首長等と意見交換を行うとともに、被災現場の調査を実施しました。

### 2 調査日

平成26年2月6日（木）

### 3 調査先（※別紙1参照）

秋田県

### 4 編成（※別紙2参照）

西村内閣府副大臣以下11名

### 5 調査の概要（※別紙3参照）

横手市内の果樹園の被害状況を調査した後、秋田県平鹿地域振興局において、秋田県副知事、横手市長、湯沢市副市長等から、大雪による被害状況と国への要望について説明を受けました。その後、横手市内の雪捨て場、湯沢市内の果樹園の被害状況を調査しました。

## 秋田県における大雪等の被害に係る政府調査団 行程

## 【2月6日(木)】

時 間		現地調査行程
10:30	10:55	横手市山内大沢地区 ▪ 現地調査
11:15	12:05	秋田県平鹿地域振興局庁舎 ▪ 被害状況等説明 ▪ 意見交換（秋田県副知事、横手市長、湯沢市副市長）
12:50	12:55	横手市赤坂総合公園 ▪ 雪捨て場調査
13:30	13:45	湯沢市三関地区 ▪ 現地調査
13:45	13:50	ぶら下がり取材

## 別紙 2

## ○秋田県における大雪等の被害に係る政府調査団 名簿

	省庁名	役職名等	氏名
1	内閣府	内閣府副大臣	西村 康稔
2	内閣府	内閣府副大臣秘書官	阪口 理司
3	内閣府	内閣府副大臣室参事官補佐	叶 雅仁
4	内閣府	政策統括官(防災担当)付参事官(事業推進担当)	角 好陸
5	内閣府	政策統括官(防災担当)付参事官(災害緊急事態対処担当)付企画調整官	藤條 聡
6	内閣府	政策統括官(防災担当)付参事官(災害緊急事態対処担当)付参事官補佐	有松 節夫
7	内閣府	政策統括官(防災担当)付参事官(普及啓発・連携担当)付主査	渥美 洋行
8	総務省	自治財政局財政課参事官	笠置 隆範
9	農林水産省	経営局総務課災害総合対策室長	中東 一
10	国土交通省	水管理・国土保全局防災課長	塚原 浩一
11	気象庁	地球環境・海洋部気候情報課長	横手 嘉二



# 秋田県における大雪等の被害に係る 政府調査団の現地調査概要



ぶどう棚が雪で埋没し一部損壊した様子  
【横手市山内大沢地区】



ぶどう園の被害状況説明を受ける  
西村副大臣【横手市山内大沢地区】



秋田県副知事、横手市長、湯沢市副市長等と意見交換をする  
西村副大臣(写真右)【秋田県平鹿地域振興局】

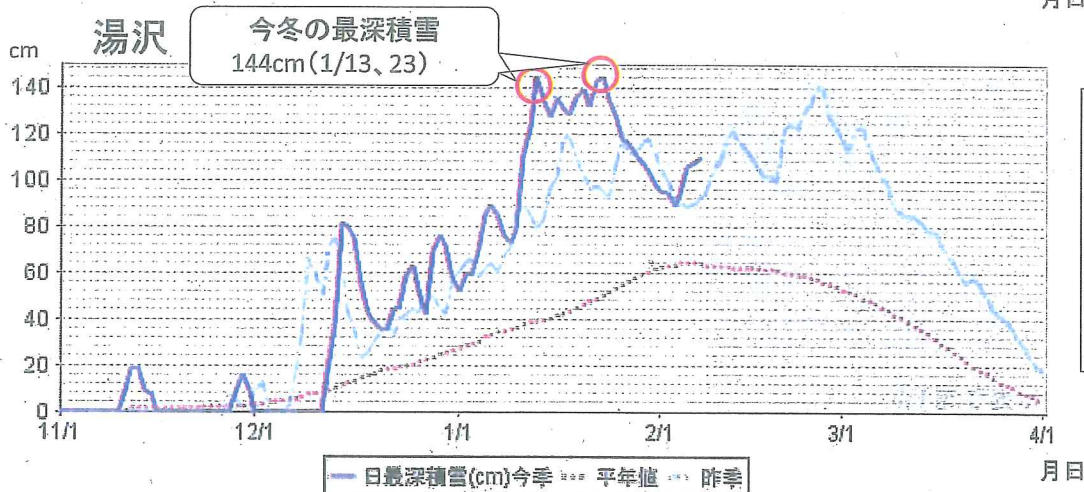
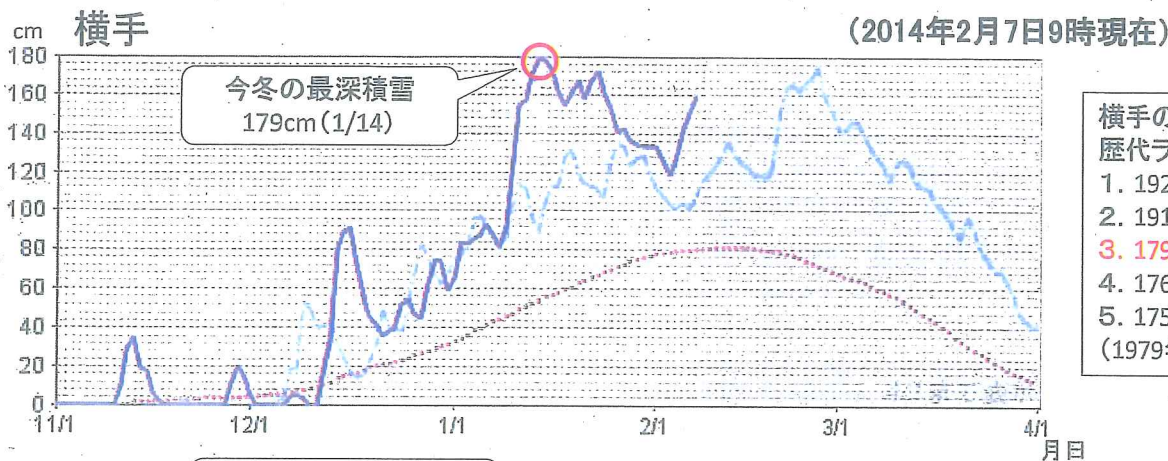


雪捨て場の状況を調査する西村副大臣  
【横手市赤坂総合公園】



さくらんぼ園の枝折れ被害の様子  
【湯沢市三関地区】





現在の雪の状況(全国)

平成26年2月7日  
気象庁

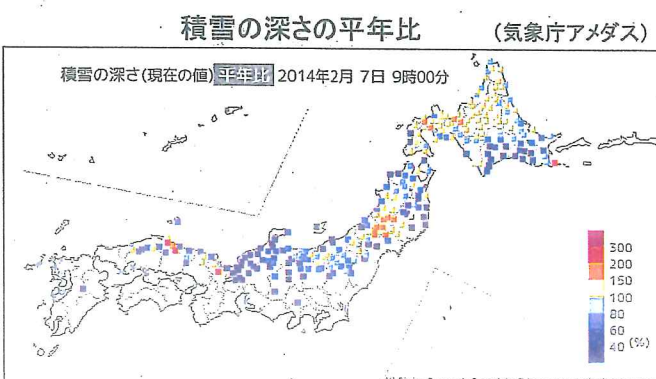
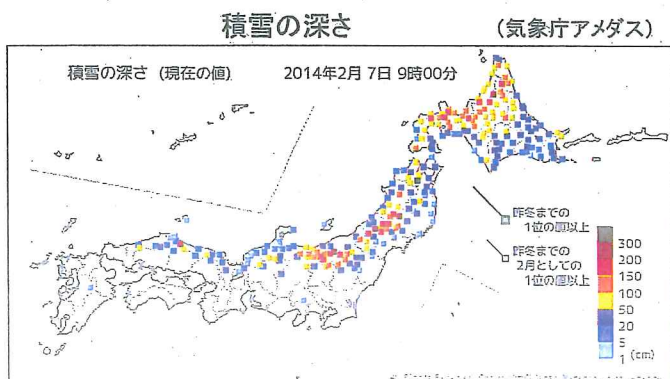
(概況)

- ・北日本日本海側では平年を上回っているところが多い。
- ・北日本太平洋側、東日本、西日本では平年を下回っているところが多い。

【積雪の深さ(2月7日9時現在)】

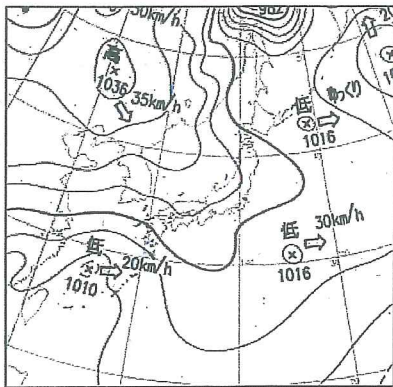
酸ヶ湯(すかゆ)(青森県)	400cm (平年比 133%)	肘折(ひじおり)(山形県)	260cm (平年比 102%)
◇悪沢(わるさわ)(群馬県)	400cm	◇猿倉(さくら)(長野県)	207cm
◆守門太平		大山(だいせん)(鳥取県)	201cm (平年比 169%)
(すもんおおだいら)(新潟県)	313cm	横手(よこて)(秋田県)	159cm (平年比 199%)
◎湯川(ゆかわ)(岩手県)	269cm	◇稲子(いなご)(宮城県)	154cm
◇旭岳(あさひだけ)(北海道)	266cm		

無印: 気象庁アメダス ◇ 国土交通省データ ◆ 防災科学技術研究所データ ◎ 自治体データ

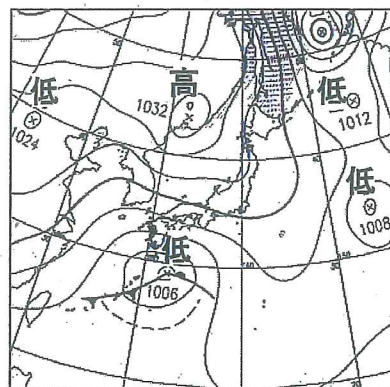




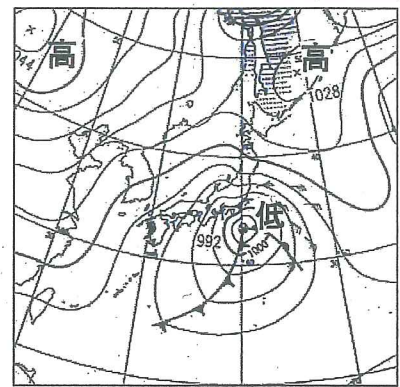
- 九州の南にある低気圧が、急速に発達しながら本州の南岸を進み、9日には三陸沖に達する見込み。
- 西日本は7日午後から8日にかけて、東日本や東北地方は8日から9日にかけて、広い範囲で雪が降り、山地を中心に大雪となる見込み。太平洋側の平野部でも大雪となる所がある。
- 東日本や北日本は非常に強い風が吹き、暴風雪となるところもある見込み。
- 8日6時までに予想される降雪量(多いところ)  
 近畿地方:30センチ      中国・四国・九州北部地方:20センチ  
 東海地方:15センチ  
 降雪量はさらに増え、9日にかけて東日本や東北地方にも広がる見込み。
- 大雪による交通障害、路面の凍結、着雪、なだれなどに注意。



実況天気図 2月6日21時



予想天気図 2月7日21時



予想天気図 2月8日21時

海水域

## 今後の気象の見通し

### 2月7日からの13日までの見通し

- ・北日本と、東日本や西日本の日本海側は、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雪または雨の日が多い見込み。
- ・秋田県では、気圧の谷や寒気の影響で、曇りや雪の日が多い見込み。

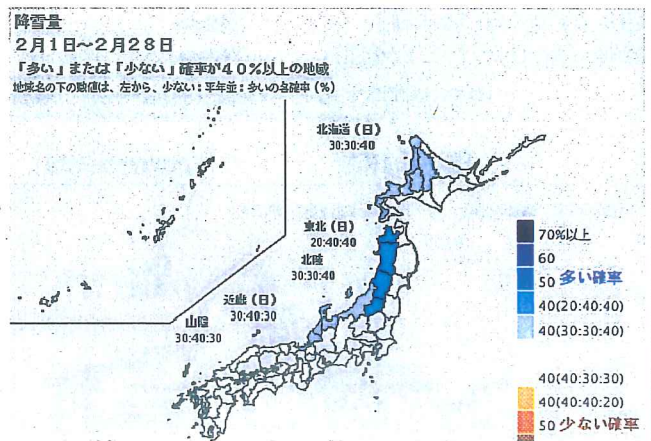
日付	7 金	8 土	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木
秋田	-1/-2 -/60/50/30	-8/1 20/10/50/60	-1/3 90	-1/5 70	-1/4 50	-2/5 40	-2/5 40
	/	/	A	B	C	C	C

### その後、2月28日までの見通し

2月9日から2月18日を対象とした大雪に関する異常天候早期警戒情報は発表しておらず、この期間の降雪量はかなり多くはない見込み。

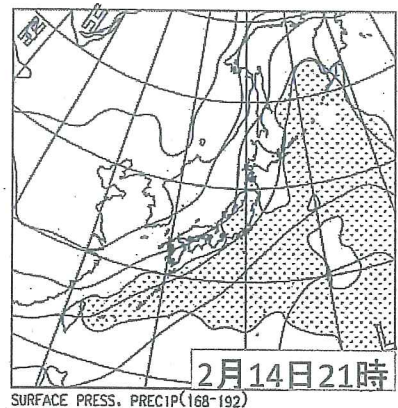
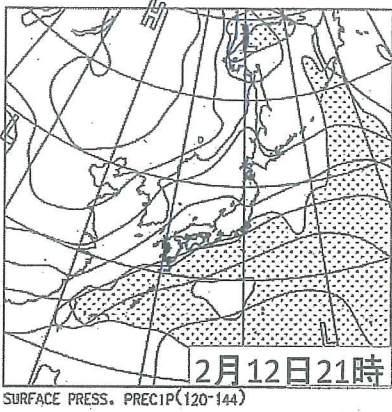
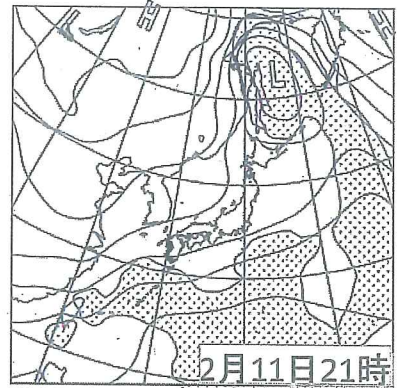
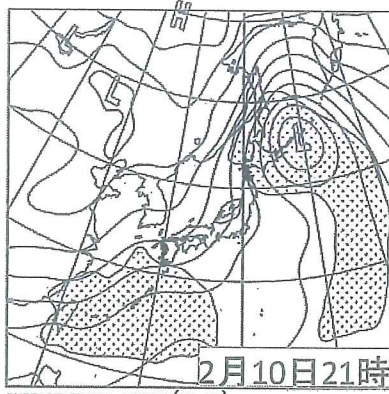
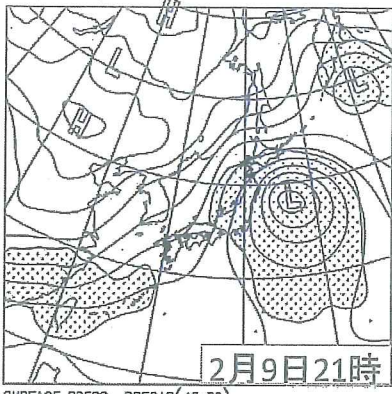
2月1日から2月28日の1か月間の東北日本海側の降雪量は、平年並か多い見込み(1月31日発表の1か月予報)。

向こう1か月(2月1日~2月28日)の降雪量の確率予報分布図



※ 異常天候早期警戒情報は、原則火・金曜日14時30分発表。次回発表日は2月7日。  
 1か月予報は、毎週金曜日14時30分発表。次回発表日は2月7日。





☐: 降水域 5

## 今冬期の大雪等にかかる被害状況について(第2報)

## 1. 本省及び地方支分部局の体制について

国土交通本省 1月23日 15:00 警戒体制

東北地方整備局 1月23日 15:00 警戒体制

近畿地方整備局 2月 4日 18:00 注意体制

## 2. 気象の状況と今後の見通しについて

## (1) 積雪の深さの状況(2月7日7時現在)

- 北日本日本海側では平年を上回っている所が多い。
- 北日本太平洋側、東日本、西日本では、平年を下回っている所が多い。

## ○ 主要都市の積雪の深さ(30cm以上)と前日差

稚内(わっかない)(北海道稚内市)	44cm	(-1cm)
旭川(あさひかわ)(北海道旭川市)	70cm	(-1cm)
留萌(るもい)(北海道留萌市)	81cm	(+2cm)
札幌(さっぽろ)(北海道札幌市)	71cm	(-5cm)
網走(あばしり)(北海道網走市)	42cm	(-1cm)
函館(はこだて)(北海道函館市)	40cm	(+9cm)
青森(あおもり)(青森県青森市)	54cm	(+3cm)
横手(よこて)(秋田県横手市)	158cm	(+11cm)
湯沢(ゆざわ)(秋田県湯沢市)	109cm	(+4cm)
新庄(しんじょう)(山形県新庄市)	138cm	(+2cm)
高田(たかだ)(新潟県上越市)	67cm	(+20cm)

## ○ 道府県ごとの積雪深最大地点を抽出し、降順に並べ替えた上位10位

◇ 悪沢(わるさわ)(群馬県みなかみ町)	400cm	(2月7日6時)
酸ヶ湯(すかゆ)(青森県青森市)	391cm	平年比 130%
◆ 守門大平(すもんおおだいら)(新潟県魚沼市)	314cm	(2月7日6時)
◎ 湯川(ゆかわ)(岩手県西和賀町)	268cm	
◇ 旭岳(あさひだけ)(北海道東川町)	266cm	
肘折(ひじおり)(山形県大蔵村)	262cm	平年比 103%
◇ 猿倉(さるくら)(長野県白馬村)	208cm	
大山(だいせん)(鳥取県大山町)	202cm	平年比 170%
横手(よこて)(秋田県横手市)	158cm	平年比 198%
◇ 稲子(いなご)(宮城県七ヶ宿町)	153cm	

※ データを即時的に収集し、その品質の確認が可能な以下の積雪計データの中から抽出。

気象庁アメダス(無印、322か所)(2月7日7時現在)、

国土交通省データ(◇印、130か所)、防災科学技術研究所データ(◆印、20か所)、

自治体データ(◎印、90か所)

※ 平年比(気象庁アメダスのみ): 平年値(1981年から2010年までの30年間のデータを平均した値)との比



(3) 今後の天気の見通し及び注意・警戒事項(2月7日7時現在)

- 13日までの天気は、北日本と、東日本や西日本の日本海側で雪または雨の日が多い見込み。
- なお、西日本は7日午後から8日にかけて、東日本や東北地方は8日から9日にかけて、広い範囲で雪が降り、山地を中心に大雪となる見込み。太平洋側の平野部でも大雪となる所がある。また、東日本や北日本は非常に強い風が吹き、暴風雪となる所もある見込。交通障害、路面の凍結、着雪、なだれなどに注意。
- 向こう1か月(2月1日～2月28日)の日本海側の降雪量は、北日本で平年並か平年より多く、東日本と西日本でほぼ平年並の見込み。

3. 国土交通省の対応

- 今冬の防災態勢の強化について省内及び関係機関等へ周知徹底(12/20)
- 情報連絡体制や防災態勢の強化等について、省内関係各局・地方支分部局等に対して確認(平成25年12月25日)
- TEC-FORCE(リエゾン:情報連絡員)の派遣
  - ・ 北海道開発局より函館市及び福島町へリエゾンを16名・日派遣し、情報共有を図ると共に、自治体からの要望等に関する調整を実施。(1/26～1/29)
  - ・ 東北地方整備局より秋田県横手市へリエゾンを2名派遣し、情報共有を図ると共に、自治体からの要望等に関する調整を実施。(1/27)
- 機械の支援・災害出動等
  - ・ 東北地方整備局より、秋田県横手市に対して排雪作業支援としてロータリー除雪車1台を貸与。(1/26～)

【雪捨て場としての河川敷地の活用】

○ 市町村等から要請を受け、新たな雪捨て場の確保や面積の拡大など、これまでに、北海道や東北地方等の直轄河川で、332箇所(約452ヘクタール)の河川敷地を雪捨て場として活用。(例年比で約1割増)(平成26年2月7日現在)

4. 気象庁の対応

- 中央防災会議会長の通知を受け、気象庁長官より庁内各長あて通知文書を発出(平成25年12月25)

5. 海上保安庁の対応

- 中央防災会議会長の通知について、管区海上保安本部へ通知文書を発出(12月20日)
- 気象警報等に留意し、随時、即応態勢をとり、被害情報の収集を実施。

6. 政府の対応

- 内閣府情報連絡室を設置(平成25年12月16日)
- 西村内閣府防災担当副大臣が秋田県の現地を視察(平成26年2月6日)

7. 人的被害

- 死者43名、重傷者261名、軽傷者309名(消防庁調べ 2月4日13:00時点)

8. 所管施設等の状況

○道路(2月7日8:00現在)

【高速道路】

事前通行規制：2区間

○印は規制中箇所

路線名	区間名	被災状況	備考
○ 道央道	札幌IC~美唄IC(上下)	雪	2/7 7:45~通行止め開始
○ 大分道	日田IC~湯布院IC(上下)	雪	2/6 21:00~通行止め開始
道央自動車道	札幌~奈井江砂川(上下)	吹雪	1月31日(金)8:27 通行止め開始(三笠~奈井江砂川) →1/31 14:25 解除 1月31日(金)9:55 通行止め開始(岩見沢~三笠) →1/31 14:25 解除 1月31日(金)10:05 通行止め開始(江別東~岩見沢) →1/31 15:55 解除 1月31日(金)11:50 通行止め開始(札幌~江別東) →1/31 20:35 解除
道央自動車道	旭川北~和寒(上下)	雪	1月31日(金)9:30 通行止め開始(旭川北~和寒) →1/31 13:00 解除
東北自動車道	滝沢~碓ヶ関(上下)	吹雪	1月31日(金)8:54 通行止め開始(滝沢~鹿角八幡平) →1/31 13:15 解除 1月31日(金)10:45 通行止め開始(安代~碓ヶ関) →2/1 3:15 解除
八戸自動車道	安代JCT~一戸(上下)	吹雪	1月31日(金)8:54 通行止め開始(安代J~浄法寺) →1/31 16:00 解除 1月31日(金)11:15 通行止め開始(浄法寺~一戸) →1/31 14:15 解除

【直轄国道】

事前通行規制：4区間

○印は規制中箇所

路線名	区間名	被災状況	備考
国道450号(旭川紋別自動車道)	比布JCT~白滝IC	吹雪	1/31 9:30~通行止め →1/31 14:50解除
国道231号	北海道石狩市志美~北海道石狩市厚田区厚田	吹雪	1/31 11:00~通行止め →1/31 13:15解除
国道7号 秋田県琴丘能代道路	能代南IC~二ツ井白神IC	視程障害	1/31 11:00~通行止め →1/31 14:30解除
国道7号 秋田県大館西道路	二井田真中IC~小坂北IC	視程障害	1/31 11:00~通行止め →1/31 14:30解除



【有料道路(公社)】

被災による通行止め：0区間

○印は規制中箇所

路線名	区間名	被災状況	備考
	規制区間なし		

【補助国道】

被災による通行止め：0区間

○印は規制中箇所

路線名	区間名	被災状況	備考

【地方道】

被災による通行止め：0区間

○鉄道関係 (2月7日08:00現在)

- ・ 1事業者 1路線 運転休止

事業者名	線名	運転休止区間	運転休止	運転再開	主な被害状況等
JR西日本	木次線	出雲横田駅～備後落合駅間	12/28 始発		

○自動車関係 (2月7日8:00現在)

【バスの運休状況】

- ・現時点において、被害情報なし。

事業者名	路線(方面)名	被害状況	備考(運行休止区間等)
東北運輸局管内			
宮城交通(株)	仙台～弘前線	通常運行	
ジェイアールバス東北(株)			
弘南バス(株)	仙台～青森線	通常運行	
宮城交通(株)			
ジェイアールバス東北(株)			
弘南バス(株)			
十和田観光電鉄(株)	弘前～盛岡線	通常運行	
弘南バス(株)			
ジェイアールバス東北(株)			
岩手県北自動車(株)	盛岡～青森線	通常運行	
岩手県交通(株)			
岩手県北自動車(株)	盛岡～花輪・大館線	通常運行	
弘南バス(株)			
岩手県北自動車(株)			
岩手県交通(株)	盛岡～浄法寺・二戸線	通常運行	
秋北バス(株)			
ジェイアールバス東北(株)			

【トラック関係】

- ・現時点において、被害情報なし。

【バスターミナル・自動車道関係】

- ・現時点において、被害情報なし。

【整備事業関係】

- ・現時点において、被害情報なし。
- 港湾関係(海岸保全施設含む)(2月7日08:00現在)
  - ・現時点において、被害情報なし。
- 空港関係(2月7日08:00現在)
  - ・空港施設等被害情報なし。
  - ・欠航便なし。
- 海事関係(2月7日08:00現在)
  - ・現時点において、被害情報なし。
- 物流関係(2月7日08:00現在)
  - ・現時点において、被害情報なし。
- 観光関係(2月7日08:00現在)
  - ・現時点において、被害情報なし。
- 官庁施設等(2月7日8:00現在)
  - ・現時点において、被害情報無し。
- 下水道(2月7日8:00現在現在)
  - ・現時点で、施設被害報告なし
- 公園(2月7日8:00現在)
  - ・現時点において、被害情報無し。

問合先:水管理・国土保全局防災課災害対策室 佐々木 代 表: 03-5253-8111 内線35822 直 通: 03-5253-8461
---

## 今冬期の大雪等による被害状況等について

※これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

平成26年2月5日  
12時00分現在  
内閣府

### 1. 人的被害の状況（消防庁調べ：2月5日12:00現在）

- ・死者45名（北海道12名、青森県5名、岩手県2名、宮城県1名、秋田県13名、  
山形県3名、福島県1名、新潟県5名、富山県1名、長野県1名、  
広島県1名）

※昨冬の同時期（2月5日現在）における死者数は、58名

- ・負傷者570名（重傷262名、軽傷308名）

### 2. 降雪の現況と見通し（気象庁情報）

#### （1）積雪の深さの状況（2月5日10時現在）

- ・北海道日本海側、東北の一部、山陰では積雪深が平年を上回っているところが多い。
- ・その他の地域では積雪深が平年を下回っているところが多い。

#### （2）積雪の観測値（2月5日10時現在）

道府県ごとの積雪深最大地点を抽出し、降順に並べ替えた上位10位

◆ 奥只見丸山（おくただみまるやま）（新潟県魚沼市）	413cm	（2月5日8時）
◇ 悪沢（わるさわ）（群馬県みなかみ町）	367cm	（2月5日6時）
酸ヶ湯（すかゆ）（青森県青森市）	363cm	平年比 123%
◇ 旭岳（あさひだけ）（北海道東川町）	267cm	（2月5日9時）
◎ 湯川（ゆかわ）（岩手県西和賀町）	248cm	
肘折（ひじおり）（山形県大蔵村）	224cm	平年比 89%
◇ 猿倉（さるくら）（長野県白馬村）	214cm	
大山（だいせん）（鳥取県大山町）	195cm	平年比 167%
湯の岱（ゆのたい）（秋田県湯沢市）	149cm	平年比 154%
只見（ただみ）（福島県只見町）	148cm	平年比 89%

※データを即時的に収集し、その品質の確認が可能な以下の積雪計データの中から抽出。

気象庁アメダス（無印、322か所）（2月5日10時現在）、

国土交通省データ（◇印、130か所）、防災科学技術研究所データ（◆印、20か所）、

自治体データ（◎印、90か所）

※平年比（気象庁アメダスのみ）：平年値（1981年から2010年までの30年間のデータを平均した値）との比

(3) 今後の天気の見通し及び注意・警戒事項 (2月5日11時現在)

- ・6日から12日にかけての天気は、北日本と、東日本や西日本の日本海側で、雪または雨の降る日が多い見込み。東日本や西日本の太平洋側は、6日から8日にかけて雨または雪の降る日がある見込み。
- ・特に6日は東北地方の日本海側で、8日から9日にかけては北日本や東日本で、風や雨または雪が強まる荒れた天気となる見込み。
- ・向こう1か月(2月1日~2月28日)の日本海側の降雪量は、北日本で平年並か平年より多く、東日本と西日本でほぼ平年並の見込み。

3. その他の被害状況

(1) 農林水産関係 (農林水産省調べ: 1月31日12:00現在)

区分	主な被害	被害数	被害地域 (現在4県から報告あり)
農作物等	農作物の冠水等	658ha	秋田県、広島県、愛媛県、熊本県
	ビニールハウスの破損	319件	
林野関係	特用林産施設等	5箇所	秋田県

※被害については、現時点で判明しているものを記載しており、引き続き調査中。

(2) 文教施設等 (文部科学省調べ: 1月31日15:00現在)

区分	被災箇所数
国立学校施設	
公立学校施設	1
私立学校施設	
社会教育・体育、文化施設等	
文化財等	
研究施設等	
計	1

- ・主な被害状況: プールのテント屋根の傾斜

(3) 電力 (経済産業省調べ: 1月31日10:00現在)

- ・現時点で被害なし

(4) 都市ガス (経済産業省調べ: 1月31日10:00現在)

- ・現時点で被害なし

(5) 水道 (厚生労働省調べ: 1月31日10:00現在)

- ・現時点で被害なし



(6) 道路 (国土交通省調べ: 1月31日 12:00 時点)

・高速道路: 事前通行規制 4 区間

○印は規制中箇所

	路線名	区間名	被災状況	備考
○	道央自動車道	札幌～奈井江砂川 (上下)	吹雪	1月31日(金)8:27 通行止め開始(三笠～奈井江砂川) →継続中 1月31日(金)9:55 通行止め開始(岩見沢～三笠) →継続中 1月31日(金)10:05 通行止め開始(江別東～岩見沢) →継続中 1月31日(金)11:50 通行止め開始(札幌～江別東) →継続中
○	道央自動車道	旭川北～和寒 (上下)	雪	1月31日(金)9:30 通行止め開始(旭川北～和寒) →継続中
○	東北自動車道	滝沢～碓ヶ関 (上下)	吹雪	1月31日(金)8:54 通行止め開始(滝沢～鹿角八幡平) →継続中 1月31日(金)10:20 通行止め解除(安代～鹿角八幡平) 1月31日(金)10:45 通行止め開始(安代～碓ヶ関) →継続中
○	八戸自動車道	安代JCT～一戸 (上下)	吹雪	1月31日(金)8:54 通行止め開始(安代J～浄法寺) →継続中 1月31日(金)11:15 通行止め開始(浄法寺～一戸) →継続中

・直轄国道: 事前通行規制 4 区間

○印は規制中箇所

	路線名	区間名	被災状況	備考
○	国道 450 号 (旭川紋別自動車道)	比布JCT～白滝IC	吹雪	1/31 9:30～通行止め
○	国道 231 号	北海道石狩市志美～北海道石狩市厚田区厚田	吹雪	1/31 11:00～通行止め
○	国道 7 号 秋田県琴丘能代道路	能代南 IC～二ツ井白神 IC	視程障害	1/31 11:00～通行止め

○ 国道7号 秋 田県大館西道 路	二井田真中 IC~小坂北 IC	視程障害	1/31 11:00~通行止め
-------------------------	-----------------	------	-----------------

・都道府県管理道路：現在、通行止めなし

(7) 鉄道 (国土交通省調べ：1月31日 13:00 現在)

事業者名	線名	運転休止区間	運転休止		運転再開	主な被害状況等
JR 西日本	木次線	出雲横田駅~備後落合駅間	12/28	始発		

(8) 通信 (総務省調べ：1月31日 14:30 現在)

	事業者	被害状況等
固定電話	NTT東日本	・被害なし。
	NTT西日本	・被害なし。
	NTTコミュニケーションズ	・被害なし。
	KDDI	・被害なし。
	ソフトバンクテレコム	・被害なし。
携帯電話等	NTTドコモ	・被害なし。
	KDDI (au)	・被害なし。
	ソフトバンクモバイル	・3局 (新潟県：1局、長野県：1局、島根県：1局) が停波。
	イー・アクセス	・被害なし。
	ウィルコム	・被害なし。
	UQコミュニケーションズ	・被害なし。
	ワイレスステップラング	・被害なし。

(9) 放送 (総務省調べ：1月31日 14:30 現在)

・現時点で被害なし

(10) 医療機関 (厚生労働省調べ：1月31日 10:00 現在)

・現時点で被害なし

(11) 社会福祉施設 (厚生労働省調べ：1月31日 10:00 現在)

・現時点で被害なし

#### 4. 政府の主な対応

##### (1) 中央防災会議会長から指定行政機関等への通知

- ・本格的な降積雪期を迎えるに当たり、人命の保護を第一とした防災態勢の一層の強化を図るため、中央防災会議会長（内閣総理大臣）から指定行政機関の長、指定公共機関の代表、関係道府県防災会議会長あてに「降積雪期における防災態勢の強化等について」の通知を発出（12月16日）

##### (2) 政府調査団の派遣

- ・2月6日に西村内閣府副大臣を団長とする政府調査団を秋田県へ派遣予定

##### (3) 関係省庁災害警戒会議等の開催

- ・降積雪期における防災態勢の強化等に係る関係省庁担当者会議を開催（12月3日 15:00）
- ・今冬期の大雪等への対応に係る関係省庁災害警戒会議を開催し、今後の気象状況の見通し及び被害・対応状況等について情報共有を行い、今後の対応に万全を期すことを確認。（12月25日 17:15）

##### (4) 各府省庁の対応

###### ○内閣府の対応

- ・内閣府情報連絡室を設置（12月16日）

###### ○警察庁の対応

- ・都道府県警察に対し、除雪作業に伴う事故防止に向けた広報啓発や雪崩等に対する市町村との協力、交通管理対策、大規模な雪害事案に対する的確な対応について通達を発出（12月24日）
- ・降積雪時における道路交通の安全を図るため、道路管理者と連携を密にし、道路の通行に関する情報提供を行うとともに、必要な区間においては、迅速に交通規制を実施するほか、迂回路誘導対策、交通信号減灯対策等を実施
- ・大雪による、大型施設における屋根の崩落事故やスキー場等における雪崩事故等の雪害発生時に備え、各都道府県警察と緊密な連携をとり、緊急時の連絡体制及び広域緊急援助隊等の救出救助部隊の迅速な派遣体制を確立

###### ○消防庁の対応

- ・中央防災会議会長の通知を受け、関係道府県に対して、雪害対策に万全を期すよう通知を発出（12月16日）
- ・関係道府県に対し、災害対策本部の設置を含めた雪害対策に万全を期すよう通知を発出（1月20日）



○防衛省・自衛隊の対応

- ・中央防災会議会長の通知を受け、部隊等に対して、防災態勢の強化を図るよう通知（12月20日）

○海上保安庁の対応

- ・中央防災会議会長の通知について、管区海上保安本部へ通知文書を発出（12月20日）
- ・気象警報等に留意し、随時、即応態勢をとり、被害情報の収集を実施。

○法務省の対応

- ・本省局部課長及び所管各庁の長あてに、中央防災会議会長の通知の趣旨を踏まえ、それぞれの実情に応じて防災対策を強化するよう通知を発出

○文部科学省の対応

- ・中央防災会議会長の通知を受け、都道府県教育委員会等に対して、児童生徒の安全確保等について通知を発出（12月19日）
- ・全国の都道府県教育委員会（四国地方、九州地方を除く）に対し、防災態勢の強化を図るとともに、児童生徒等の安全確保及び施設の安全確保等に万全を期すよう要請（12月26日）

○農林水産省の対応

- ・果樹等の被害防止に向けた技術指導の徹底及び農業共済の対応について通知を発出（11月27日）
- ・山地被害の危険箇所の周知・点検等、応急対応及び被害報告について通知を発出（12月18日）
- ・林道施設及び森林被害の応急対応及び被害報告について通知を発出（12月18日）
- ・農地・農業用施設災害の二次災害の防止、応急措置及び被害報告について通知を発出（12月19日）

○厚生労働省の対応

- ・中央防災会議会長の通知を受け、省内各部局及び関係団体に対し、防災態勢の強化を図るよう通知

○経済産業省の対応

- ・中央防災会議会長の通知について、指定公共機関である電力事業者に対して発出（12月17日）
- ・「ガス事業者に対する降積雪期における防災態勢の強化等の要請について」の文書を発出（12月25日）
- ・「液化石油ガス販売事業者等に対する降積雪期における防災態勢等の要請について」

の文書を発出（12月25日）

○国土交通省の対応

- ・今冬の防災態勢の強化について省内及び関係機関等へ周知徹底（12月20日）
- ・情報連絡体制や防災態勢の強化等について、省内関係各局・地方支分部局等に対して確認（12月25日）

【TEC-FORCE（リエゾン：情報連絡員）の派遣】

- ・北海道開発局より函館市及び福島町へリエゾンを16名・日派遣し、情報共有を図る都と共に、自治体からの要望等に関する調整を実施（1月26日～1月29日）
- ・東北地方整備局より秋田県横手市へリエゾン2名派遣し、情報共有を図ると共に、自治体からの要望等に関する調整を実施（1月27日）

【機械の支援・災害出動等】

- ・東北地方整備局より、秋田県横手市に対して排雪作業支援としてロータリー除雪車1台を貸与（1月26日～）

【雪捨て場としての河川敷地の活用】

- ・市町村等から要請を受け、新たな雪捨て場の確保や面積の拡大など、これまでに、北海道や東北地方等の直轄河川で、332箇所（約452ヘクタール）の河川敷地を雪捨て場として活用（例年比で約1割増）（1月31日）

○気象庁の対応

- ・中央防災会議会長の通知を受け、気象庁長官より庁内各長あて通知文書を発出（12月25日）

○環境省の対応

- ・中央防災会議会長の通知について、省内関係各局に周知徹底。

# 6 総務省

平成 26 年 2 月 7 日(金)9:30 現在  
総 務 省

## 今冬期の大雪等による被害状況等について (第 2 報)

### 1 被害状況

#### 1 通信関係

	事業者	被害状況等
固定電話	NTT東日本	・被害なし。
	NTT西日本	・被害なし。
	NTTコミュニケーションズ	・被害なし。
	KDDI	・被害なし。
	ソフトバンクテレコム	・被害なし。
携帯電話等	NTTドコモ	・被害なし。
	KDDI (au)	・被害なし。
	ソフトバンクモバイル	・ 3→2局 (新潟県: 1局、長野県: 1局、島根県: 1局→復旧) が停波。
	イー・アクセス	・被害なし。
	ウィルコム	・被害なし。
	UQコミュニケーションズ	・被害なし。
	ワイヤレスIPラジオ	・被害なし。

#### 2 放送関係

##### 〈コミュニティFM〉

	事業者・影響世帯数等	被害状況等
島根県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 株式会社エフエムいずも</li> <li>・ 出雲市及びその周辺地域</li> <li>・ 影響世帯数: 約 56,000 世帯 (全世帯、復旧済み)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 累積 15 時間 18 分の無音状態。</li> <li>・ 大雪による送信所への送電の停止 (蓄電池の枯渇後、商用電源の復旧を待っていたもの)</li> <li>・ 平成 26 年 2 月 4 日(火) 21 時 22 分から 2 月 5 日(水) 12 時 40 分</li> </ul>

#### 3 郵政関係

なし

### 2 総務省の対応状況

・ 現地に総務省から職員を派遣 (2/6 西村内閣府副大臣 (防災担当) を団長とする政府調査団 (秋田県))。

大臣官房総務課 (調整)  
電話 03-5253-5090  
FAX 03-5253-5093